

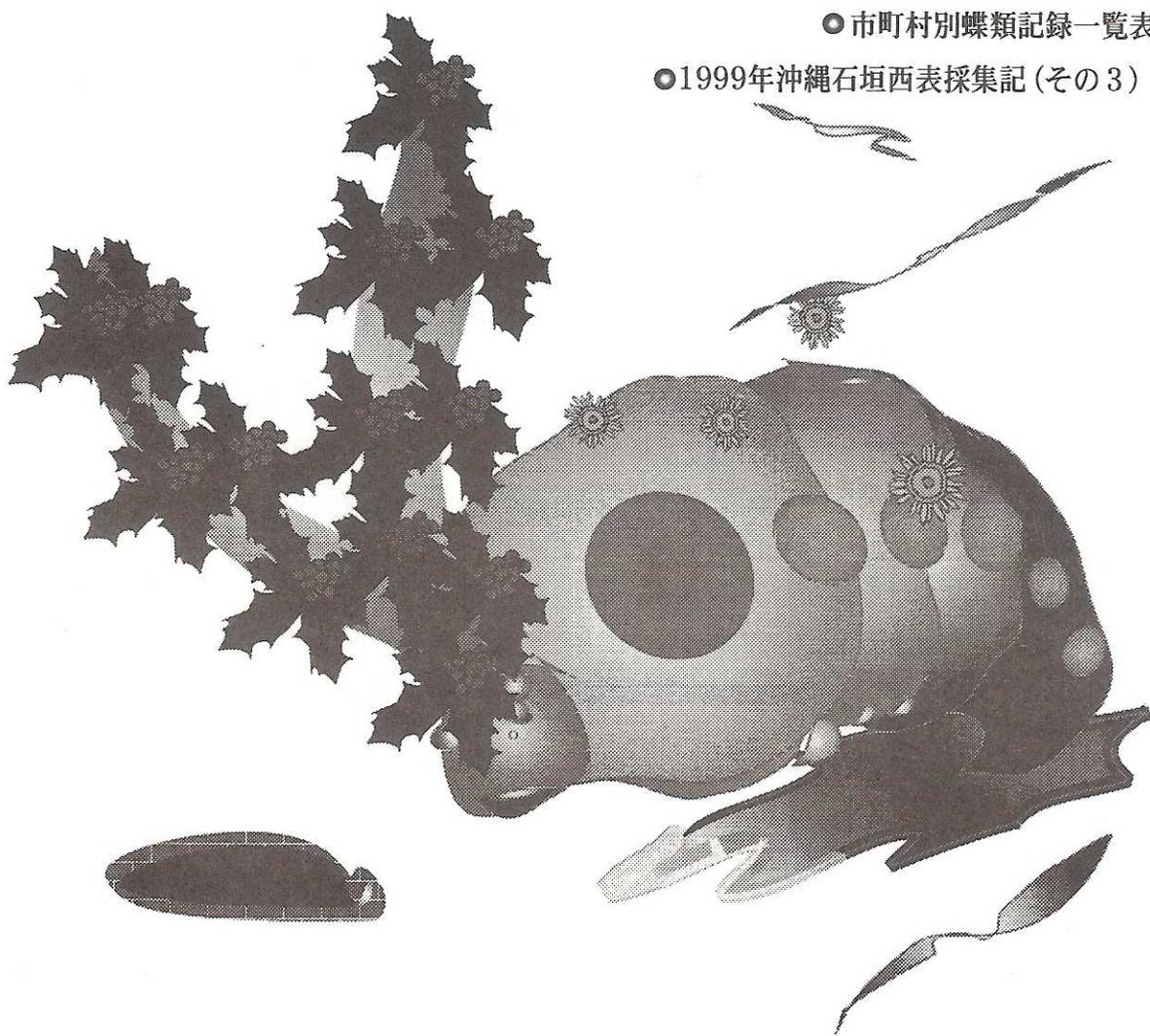
# 翔

百万石蝶談会

No. 147

December 2000

- キベリタテハを輪島市鉢伏山で目撃
- ムラサキシジミの採集・目撃例
- 白峰村大杉谷林道の薪置き場におけるカミキリムシ
- 白峰村でアイヌハンミョウを採集
- 市町村別蝶類記録一覧表
- 1999年沖縄石垣西表採集記(その3)

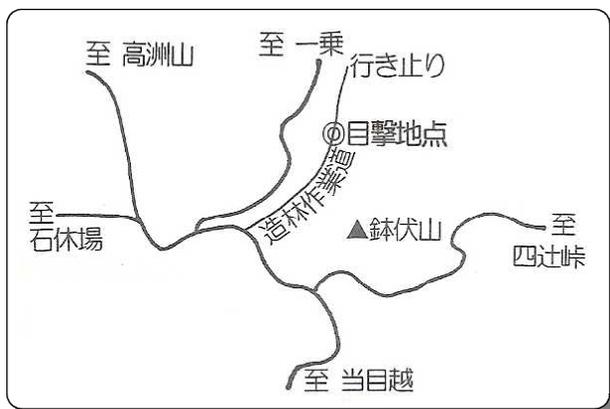


## キベリタテハを輪島市鉢伏山で目撃

日吉芳朗

2000年8月26日の朝、大阪からの来客を「21世紀に残したい日本の自然百景」などに指定されている鉢伏山へ案内した。この山の端正で女性的な容姿とそこに実っているツチアケビの果実をぜひお見せしたかったからである。年に幾度となく通うこの山も、近年は頂上をとり巻く小径に沿ってアサギマダラをマーキングしながら歩くことが多く、ゆっくり山全体を眺めることはなかった。そのためあらためて山容を堪能するとともにその保護を切に願った次第である。

次いでササの中に点在するツチアケビの果実を客に示しつつ何気なく道路そばの崖上に目を向けたところ、距離にして1m足らずのところの土より飛び出したササの根に翅を開いたキベリタテハ1頭が静止していたのである。あまりのことに頭は混乱し、心臓が高鳴り始めたものの、決して取り逃がしてはいけないとの



思いが頭を占めた。今にして思えば腕はこわばり顔は引きつっていたのかも知れず、その状態でネットをかまえた。瞬間、蝶は飛び立ったが、比較的緩やかにその周辺を徘徊し始めた。しかしなかなか止まってくれず、ついに業を煮やして一発捕虫を願ってネットを払ったところみごとにかわされ、蝶はそのまま後方のブナ林に逃げ込んでしまった。タテハチョウのため元のところに戻ってくることも考え、その周辺に30分以上とどまったが、再びあらわれることはなかった。その時刻は10時40分頃であり、位置は造林作業道入口より約320m入った地点である（図参照）。また鮮度は十分に観察したわけではないが、それほど新鮮ではなく、さりとて破損は特になかったように思う。翌日よりその周辺に5個のバナナトラップを設置した。しかしルリタテハ、ヤマキマダラヒカゲ、クロヒカゲ、ヒメジャノメがさそわれたただけであった。

それにしてもこのキベリタテハはどこからどのようにしてこの地にたどりついたのであろうか。キベリタテハは石川県では食草のダケカンバのある標高1,500m以上の高地で発生するとされている。松井正人氏によれば、近い発生地には金沢市の犀川上流、富山の朝日連峰などがあるが、どちらも遠く、富山からだと海を渡る必要があり、なかなか難しい飛来であるという。筆者自身も未だに信じられないような気持ちであり、謎の多さに困惑している。

《ひよし よしろう 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

## ムラサキシジミの採集・目撃例

大 脇 淳

石川県内では採集例が比較的少ないムラサキシジミを、金沢市と刈安山でそれぞれ採集・目撃しているので報告する。

2000年6月24日 金沢市俵 1♀採集 大脇 淳

天候は薄曇り、林縁の地上約50cmのところを飛行中であった。

2000年7月19日 加賀市刈安山 3♀目撃 大脇 淳

ミズナラやアカガシ、シイなどが生える林内のかなり陽が差し込む地点で目撃したものである。

2000年7月31日 金沢市角間 1♀採集 大脇 淳



暑い日で、11時頃にコナラ、アベマキ林の林内の道沿いに生えている草を叩いていたら、高さ1m位のところから飛び出したのを覚えている。翅の状態は非常に良く、鱗粉も落ちていず、翅も欠けていなかった。

《おおわき あつし 〒920-0921 金沢市材木町15-67 コーポ兼六101号》

## 鳥越村にてスギタニ型オオムラサキを採集

嵯峨井 淳郎

1999年7月17日、石川郡鳥越村河原山にてオオムラサキを2♂1♀採集した。このうちの1♀がいわゆるスギタニ型と称される白化型雌であったので記録しておく。

現地における観察状況は、破損した多数の雄がむやみに灌木内を交互に急襲するような行動を示す事から「ひょっとしたらメスがいるのでは」と予測し詳細に観察すると、一本の横に突き出したようなエノキと思われる枝に裏面銀白色の前後翅を開閉させながら産卵行動中と思われる本種を確認した。しばし熟考のうえ採集したものである。

なお、1999年の当地におけるオオムラサキは、通年に比較して1週間～10日程度の発生の遅れを感じた。

1999年7月17日 石川県石川郡鳥越村河原山 2♂1♀採集 嵯峨井淳郎

《さがい じゅんろう 〒921-8145 金沢市額谷3-18-2》

## 白峰村大杉谷林道の薪置き場におけるカミキリムシ

矢田 新平

2000年の夏に白峰村大杉谷林道の一カ所の薪置き場でカミキリムシの種類とその数を短期間であったが継続観察したので、報告する。

### ■観察場所と観察方法

- 1) 観察期間と回数：2000年7月9日から8月27日までの期間に6回。
- 2) 観察時間：1時間の定点継続観察。
- 3) 観察場所：石川県石川郡白峰村大杉谷林道、起始点から1600m入った標高625mの地点の薪置き場。
- 4) 観察場所とした薪置き場：薪は道路の南側傍に整然と積み上げられており、高さ×横×奥行き=200×275×125cmで、上部にトタンが配置され雨の流入を防いでいた。今冬の薪のために今年に入って新たな材を切り出して準備したものと思われた。
- 5) 薪の種類および形態：太さ3~25cm、長さ130cmのカシ、クリ、クルミ、ナラ、その他の広葉樹。太い薪は下部に、細い薪は上層部に配置されていた。
- 6) カミキリムシを発見しだい、採集した。わずかであるが一部取り逃がした個体もあったが、これらは表に含めなかった。取り逃がした個体で表にあげた17種以外の種はいなかった。余裕があれば撮影もおこなった。

### ■カミキリムシの種類と数の推移

- 1) 17種類、88頭のカミキリ類を採集した(表1)。
- 2) 一番多く採集した種はゴマフカミキリで21頭であった。次ぎはエグリトラカミキリの14頭、続いてシラケトラカミキリの11頭、ニジマトラカミキリの10頭の順であった。
- 3) 7月9日に13種類、39頭と一番多く採集できたが、8月27日には0頭となった。
- 4) トラカミキリ族(No. 4~No. 10)とゴマフカミキリ族(No. 11~No. 13)が多かった。
- 5) 去年は当地でルリボシカミキリ、アカネトラカミキリも得ているが、今回は得られなかった。

### ■まとめ

- 1) 他にも同様な薪置き場があったが、カミキリムシはこの薪置き場に一番多く集まっていた。その理由には多くの要因が考えられたが、特定はできなかった。
- 2) カミキリムシは薪の樹皮上をめまぐるしく巡回しており、採集可能な位置に出てきた時、すばやく採集した。ゴマフカミキリ族は動きが緩慢で採集しやすかったのに対し、トラカミキリ族の動きは俊敏で採集し損ねることもわずかではあるがあった。
- 3) トラカミキリ族は概して目の高さより上の位置に多く、ゴマフカミキリ族は下部の太い材に多く見うけられた。また、両族共、材の切断面を好む傾向にあった。

- 4) このようなカミキリムシが集まりやすい薪置き場を見つければ、労せずして多くのカミキリムシを得ることが可能であったことから、カミキリムシを訪木させる為の作為的な薪置き場を創作することも興味ある課題と思われた。
- 5) 同薪置き場で筆者以外の採集者がいたか否かは不明だが、今回の調査で7月9日が種類数（13種）、個体数（39頭）共に最多で、7月16日から8月16日までは種類数（4～7種）、個体数（10～19頭）共横ばい状態となり、8月27日には0頭となった。来年は7月9日より早くから現地に入って、さらに詳しい調査をしたいと思っている。

最後に、種の同定に際し、井村正行氏にお世話になりました。誌上をお借りして深謝申し上げます。

表1. 白峰村大杉谷林道の薪置き場におけるカミキリムシの種類と推移

2000年、月日	7月9日	7月16日	7月23日	7月30日	8月16日	8月27日	
時間から	11:00	11:00	15:30	15:10	10:40	10:50	
時間まで	12:00	12:00	16:30	16:10	11:40	11:50	
気温	25℃	27℃	30℃	31℃	27℃	28℃	
天気	薄曇り	晴	晴	晴	晴	晴	
No 種名							合計
1 タゲマハカミキリ	1						1
2 ニフハカミキリ	2						2
3 チャイホヒラカミキリ	1 (死体)						1
4 ニジマトラカミキリ			1	7	2		10
5 ウスイトラカミキリ	1		2	2			5
6 キズトラカミキリ	6						6
7 シラケトラカミキリ	10	1					11
8 エグリトラカミキリ	5	2	4	3			14
9 ホトラカミキリ	4						4
10 シロトラカミキリ	1						1
11 ゴマフカミキリ	5	3	3	6	4		21
12 ナガゴマフカミキリ					2		2
13 タテジゴマフカミキリ		1		1	1		3
14 マヤサンコブヤハスガミキリ					1		1
15 ニセゴマフカミキリ	1	2					3
16 ニセシラカミキリ	1						1
17 シラホシカミキリ	1	1					2
数 合計	39	10	10	19	10	0	88
種 合計	13	6	4	5	5	0	17

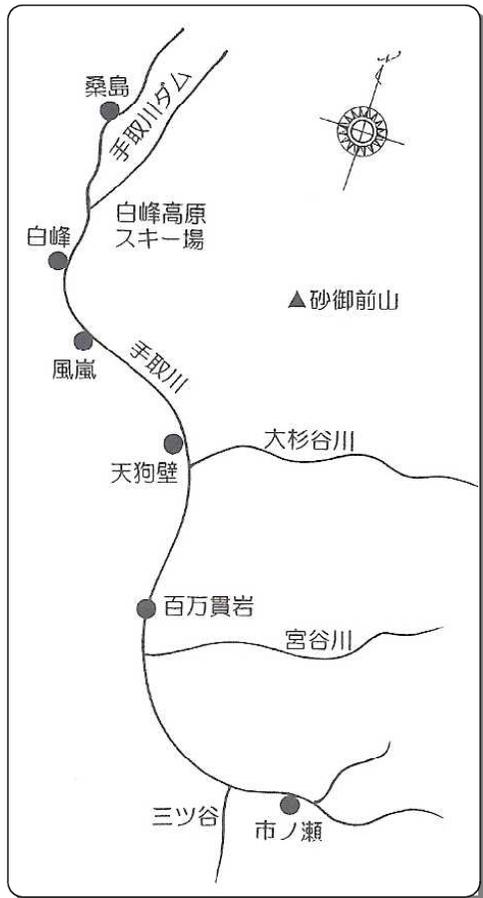
注1) 取り逃がした個体もわずかにあったが、その中には表中17種以外の種はいない

注2) 表中の数字は個体数

《やた しんぺい 〒923-0802 小松市上小松町丙192-8》

## 白峰村でアイヌハンミョウを採集

井村正行



本種は、石川県では低山帯から山地帯、丘陵地で比較的広く採集されているようだが、産地が局所的な為か、それとも筆者の未熟さの為か、これまで採集することができなかった。そこで、三重県の現地で秋田 勝己氏に本種の採集法を教えていただき、白峰村の手取川で採集を試みたところ、採集するに至った。

本種は条件さえ合えば、個体数は決して少なくない。20cm位以上の石がゴロゴロしている砂地の川辺と、川から3～6m程離れたところに幼虫が成育するのに必要な砂地を主体とした草付きがあれば、成虫は砂地の川辺で5月～6月に観察された。調査時期も非常に大切で、盛夏になると成虫はほとんど観察できなくなった。

白峰村での調査は、風嵐(がたらし)から百万貫岩までの間で行い、5カ所で観察採集することができ、同時に多くのコニワハンミョウと、10頭程のニワハンミョウを観察した。

◆アイヌハンミョウ *Cicindela gemmata aino* Lewis

2000年5月30日	石川県白峰村天狗壁手取川河川敷	5頭採集	井村正行
2000年6月4日	石川県白峰村風嵐手取川河川敷	3頭採集	井村正行
2000年6月4日	石川県白峰村天狗壁手取川河川敷	2頭採集	井村正行
2000年6月4日	石川県白峰村百万貫岩手取川河川敷	2頭採集	井村正行
2000年6月5日	石川県白峰村風嵐手取川河川敷	4頭採集	井村正行
2000年6月5日	石川県白峰村天狗壁手取川河川敷	8頭採集	井村正行

この報告をするにあたり、本種の生態に関していろいろとご教授いただいた、三重県の秋田勝己氏に感謝申し上げる。

## 《 参考文献 》

高羽正治 (1998) コウチュウ目ハンミョウ科, 石川県の昆虫:102-103. 石川県.

《いむら まさゆき 〒920-0211 金沢市湊2-116-70》

## 市町村別蝶類記録一覧表

松 井 正 人

かつてサブタン少年と「21世紀の宇宙の扉」と歌い、遠い存在だったその扉が、今は直ぐそこに迫っている。本誌も、今号が20世紀の最終号となり、発行後1ヶ月足らずでかつての「宇宙の扉」が開かれる事となった。

ここでは21世紀に向け、20世紀中に石川県で記録された蝶125種について、県内41市町村別に記録の有無を示した。扱った記録は、その種を記録した日付や場所などのデータがはっきりしているもののみとし、種名だけが羅列された「・・・町の蝶リスト」などの記録は扱っていない。また、記録の中には、その地で発生を繰り返している種はもちろん、一時的にその地で観察された種も含まれている。

表からは、その市町村で記録されている種の合計と、記録されている種名が分かり、「1」と有るのが記録の有ることを示している。市町村名は3文字で表しているが、能登島は能登島町、田鶴浜は田鶴浜町、宇ノ気は宇ノ気町、野々市は野々市町、吉野谷は吉野谷村のことである。

表からうかがわれるのは、やはり普通種の記録が少ない事である。熱心な同好者が居住する輪島市、金沢市、小松市や、有名な観察地を抱える押水町や白山周辺の吉野谷村、尾口村、白峰村については、普通種についても記録され記録種数は70種を越えている。記録種数が10種を下回る七塚町、松任市、美川町、根上町、寺井町は、いずれも山や森の無い平地の水田地帯に広がる市町村で、同好者は特別な事情が無い限りほとんど訪れない。

普通種をこまめに記録すれば、水田地帯の市町村でも40種近くは記録が可能と思われる。山や森を抱える市町村では、70種近くは記録が可能と思われる。更に白山山系に連なる山々を有する市町村の、金沢市、鶴来町、河内村、鳥越村、吉野

谷村、尾口村、白峰村、小松市、山中町は、最高の条件に恵まれていると思われる、100種近くは記録が可能と思われる。例えば、小松市では95種が記録されているが、キバネセセリ、ムモンアカシジミ、フジミドリシジミ、カラスシジミ、ミヤマカラスシジミ、シータテハ、ツマジロウラジャノメなどの種が今後追加される可能性が高い。

白山山系に連なる山々を有する市町村で、100種を越える種数を記録している金沢市は、かなり調査が進んだ市町村で、今後新たな迷蝶の出現が無い限り種数は増えないと思われる。白山山系とは無関係な市町村で、70種を越えている輪島市と押水町も調査が進んでいる市町村で、輪島市では、今後の調査によって、ウラゴマダラシジミ、ウラナミアカシジミ、ウラクロシジミ、アイノミドリシジミなどが追加される可能性が高い。

## 市町村の目標種数

水田地帯の市町村	40種
山や森がある市町村	70種
白山に連なる市町村	100種

市町村名	珠 洲 市	内 浦 町	輪 島 市	柳 田 村	能 都 町	穴 水 町	門 前 町	能 登 島	中 島 町	田 鶴 浜	鳥 屋 町	鹿 西 町	鹿 島 町	七 尾 市	富 来 町	志 賀 町	羽 咋 市	志 雄 町	押 水 町	高 松 町	七 塚 町
市町村記録数	57	17	74	13	21	50	54	20	44	13	16	12	64	52	54	41	44	30	73	28	2
ミヤマセリ	1		1			1	1							1	1			1	1		
ダイヨウセリ			1		1	1	1		1				1	1	1	1	1			1	
アオハセリ			1				1		1				1	1						1	
キハネセリ																					
キンイチモンジセリ													1								
ホシチャハネセリ																					
ホソハセリ	1	1	1			1		1	1					1	1						
ヘリグロチャハネセリ																					
コキマダラセリ																					
ヒメキマダラセリ																					
キマダラセリ	1	1	1			1	1						1		1					1	
コチャハネセリ	1		1			1	1		1	1			1	1	1	1	1			1	
オオチャハネセリ			1										1		1		1				
チャハネセリ			1				1	1	1		1	1		1	1	1	1	1	1	1	1
ミヤマチャハネセリ	1	1	1			1	1	1	1		1	1		1	1	1	1	1	1	1	1
イチモンジセリ	1		1			1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ウスハシロチョウ			1				1													1	
キフチョウ																				1	
シヤコウアゲハ			1			1							1	1	1	1	1	1	1	1	1
アオスジアゲハ			1		1	1	1		1				1	1	1	1	1	1	1	1	1
キアゲハ	1		1		1	1	1		1				1	1	1	1	1	1	1	1	1
アゲハ	1		1		1	1	1		1				1	1	1	1	1			1	1
オナガアゲハ			1				1		1				1		1					1	
クロアゲハ	1	1	1	1	1	1	1		1	1			1	1	1	1	1			1	
ナカサキアゲハ																					
モンキアゲハ	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
カラスアゲハ	1		1			1	1		1				1	1	1	1				1	
ミヤマカラスアゲハ			1				1						1		1					1	
キチョウ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ツマグロキチョウ																		1			
スシホツヤマキチョウ	1		1					1						1							
モンキチョウ	1	1	1			1	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1
ツマキチョウ	1		1				1	1					1	1						1	1
モンシロチョウ	1		1			1		1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
スシグロシロチョウ	1		1			1	1		1				1	1						1	
エゾスシグロシロチョウ			1				1		1				1					1		1	1
ムラサキシジミ																					
ムラサキツバメ																					
ウラゴマダラシジミ																					
ウラキシジミ			1																		
ムモンアカシジミ																					
アカシジミ	1		1																		1
ウラナミアカシジミ																					
オナガシジミ																					
ミスイロオナガシジミ			1											1							1
ウスイロオナガシジミ																					
ウラミスシジミ																					1
ウラクロシジミ																					1
ミドリシジミ		1	1	1		1			1			1	1		1	1				1	
メスアカミドリシジミ																					
アイミドリシジミ																					1
フシミドリシジミ																					
オオミドリシジミ	1		1																		1
エゾミドリシジミ	1		1																		1
ジョウサンミドリシジミ	1		1																		1
トラフシジミ	1		1			1	1		1				1	1		1				1	
カラスシジミ																					
ミヤマカラスシジミ																					
コツバメ			1										1	1							1
ヘビシジミ	1	1	1		1	1	1		1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
コイシジミ	1		1			1					1		1	1	1	1	1			1	
クロシジミ																					



市町村名	珠洲市	内浦町	輪島市	柳田村	能都町	穴水町	門前町	能登島	中島町	田鶴浜	鳥屋町	鹿西町	鹿島町	七尾市	富来町	志賀町	羽咋市	志雄町	押水町	高松町	七塚町
ウナミシジミ	1		1			1					1		1		1	1	1	1	1	1	1
ヤマトシジミ	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
シルビアシジミ															1						
ゴマシジミ																					
ルリシジミ	1		1	1		1	1	1	1		1		1	1	1	1	1		1		
スキタルリシジミ																					
ツバメシジミ	1		1	1		1	1			1		1	1	1	1		1	1	1	1	1
ヒメシジミ																					
ミヤマシジミ																					
アサマシジミ																					
ウラギンシジミ	1		1	1		1	1		1				1	1	1	1	1	1	1	1	1
テングチョウ	1		1										1	1		1			1		
アサキマダラ	1		1			1							1	1	1		1		1		
スシクロカバマダラ																					
カバマダラ																					1
ウラギンシシホウモン	1		1				1		1				1	1	1				1	1	1
オウウラギンシシホウモン	1	1	1			1	1	1	1			1	1	1	1			1	1	1	1
ミドリヒョウモン	1				1		1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
クモガタヒョウモン	1	1	1			1	1	1	1			1	1	1	1	1	1		1		1
メスグロヒョウモン	1		1			1	1	1				1	1	1	1	1	1		1	1	1
ウラギンヒョウモン	1		1			1			1			1		1	1				1	1	1
ギンボシヒョウモン																					
ツマグロヒョウモン	1		1			1	1					1	1			1	1	1	1	1	1
イチモンシチョウ	1	1	1	1	1	1	1		1			1	1				1		1	1	1
アサマイチモンシ			1			1						1	1						1		
コスシ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ミスシチョウ																					
オオミスジ																					
フタスジチョウ																					
ホシミズジ																					
サカハチチョウ	1		1				1					1					1		1		1
キタテハ	1		1				1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
シータテハ												1				1					
エルタテハ																					
ルリタテハ	1		1		1	1	1		1			1	1	1	1	1	1		1		
キヘリタテハ			1																		
ヒオドリクチョウ	1		1			1	1					1	1				1	1		1	
クシヤクチョウ																					
コヒオドリ																					
ヒメアカタテハ	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
アカタテハ	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
アオタテハモドキ			1																		
メスアカムラサキ																					
リュウキウムラサキ	1																				
スミナガシ			1				1					1		1						1	
コムラサキ	1		1	1	1	1	1		1		1		1	1	1	1			1		
ゴマダラチョウ	1		1	1	1	1	1	1	1		1		1	1	1	1	1	1	1	1	1
オオムラサキ	1		1										1	1					1	1	
ヒメウラナミシヤノメ	1	1	1	1	1	1	1		1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ヘニヒカゲ																					
クモマヘニヒカゲ																					
シヤノメチョウ	1		1		1	1	1								1			1		1	1
ツマジロウラシヤノメ																					
ヒメキマダラヒカゲ																					
クロヒカゲ	1		1		1	1	1		1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ヒカゲチョウ			1				1				1		1						1	1	
オオヒカゲ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ヤマキマダラヒカゲ	1		1			1	1		1		1		1	1	1				1	1	
サトキマダラヒカゲ	1		1				1						1	1	1						
ヒメシヤノメ	1		1		1	1	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
コシヤノメ							1							1							
ウスイロコマチョウ							1								1		1	1	1	1	
クロコマチョウ						1							1		1						

宇ノ気	津幡町	内灘町	金沢市	松任市	野々市	鶴来町	河内村	鳥越村	吉野谷	尾口村	白峰村	美川町	川北町	根上町	寺井町	辰口町	小松市	加賀市	山中町	市町村名
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	ウラナシジミ
1	1	1	1	1			1				1		1		1		1	1	1	ヤマトシジミ
																				シルビアシジミ
			1						1	1	1									ゴマシジミ
		1	1			1	1	1	1	1	1		1			1	1	1	1	ルリシジミ
		1	1				1	1	1	1	1		1			1	1	1	1	スキタニルシジミ
		1	1						1	1	1		1			1	1	1	1	ツバメシジミ
									1	1	1									ヒメシジミ
				1						1	1					1				ミヤマシジミ
1	1		1			1		1	1	1	1					1	1	1	1	アサマシジミ
	1		1			1	1	1	1	1	1		1			1	1	1	1	ウラキンスシジミ
	1		1			1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	テングチョウ
			1			1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	アサキマダラ
			1		1												1			スシグロカバマダラ
			1		1							1					1			カバマダラ
			1			1		1		1	1						1			ウラキンスシヒョウモン
	1		1				1		1	1	1					1	1	1	1	オオウラキンスシヒョウモン
	1		1			1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	ストリヒョウモン
			1						1	1	1					1	1	1	1	クモガタヒョウモン
			1					1		1	1					1	1		1	メスグロヒョウモン
		1	1				1	1	1	1	1						1			ウラキンスシヒョウモン
			1																	ギンボシヒョウモン
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	ツマグロヒョウモン
	1		1			1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	イチモンジチョウ
			1			1	1	1	1	1	1		1				1	1		アサマイチモンジ
1	1		1			1	1	1	1	1	1		1			1	1	1	1	コムシ
			1			1	1	1	1	1	1					1	1		1	ミスンチョウ
			1					1		1	1						1			オオミスシ
																				フタスシチョウ
			1			1		1	1	1	1						1		1	ホシミスシ
	1		1			1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	サカハチチョウ
1	1		1			1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	キタテハ
	1		1				1		1	1	1									シータテハ
									1	1	1									エルタテハ
			1			1	1		1	1	1		1			1	1	1	1	ルリタテハ
			1				1		1	1	1					1	1		1	キベリタテハ
		1	1		1		1	1	1	1	1					1	1	1	1	ヒオトシチョウ
			1			1			1	1	1					1				クシヤクチョウ
																				コヒオトシ
1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1			1	1	1	1	ヒメアカタテハ
1	1	1	1	1		1	1		1	1	1		1			1	1	1	1	アカタテハ
			1																	アオタテハモドキ
																				メスアカムラサキ
																				リュウキュウムラサキ
		1					1	1		1	1						1	1		スミナカシ
1			1			1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	コムラサキ
1	1		1		1	1		1	1	1						1	1	1	1	ゴマダラチョウ
		1	1					1	1	1						1	1	1	1	オオムラサキ
1	1		1			1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	ヒメウラナシシヤノメ
																				ヘニヒカゲ
																				クモマヘニヒカゲ
		1		1											1	1	1	1		シヤノメチョウ
			1					1	1	1	1									ツマシロウラシヤノメ
			1				1		1	1	1						1		1	ヒメキマダラヒカゲ
		1	1				1		1	1	1					1	1	1	1	クロヒカゲ
1	1		1														1	1		ヒカゲチョウ
1	1		1																	オオヒカゲ
		1	1				1		1	1	1									ヤマキマダラヒカゲ
			1														1	1		サトキマダラヒカゲ
1	1	1	1		1	1			1	1			1		1	1	1	1	1	ヒメシヤノメ
1			1			1	1		1								1	1	1	コシヤノメ
1	1		1	1										1			1	1		ウスイロノマチョウ
																1				クロノマチョウ

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

## 1999年沖縄石垣西表採集記（その3）

笹川 忠志

■10月9日 世間では今日から3連休である。西表の採集者はどうも50人を軽くオーバーしている様な感じであった。「月が浜」の看板の先に「トウヘンボク」とか言う店の看板がありその周辺がポイントである。タイワンキマダラは林縁に出てきて、何かの気配を感じるとヤエヤマムラサキの様に飛び出してくるのである。何人もの同業者がこの路地に入って来たが、皆通りすがりに1～2頭採集する程度であった。結果としてボロも混じったが、8オス9メスをゲットしたのである。白浜の旧道を行くと、網を持ったそれと解る人が5人程度いた。これからあの暗い林道を探索されるのだろうか、と思いながら車を滑らせた。昨日の迷マダラのポイントでしばらく眺めていたが、今日はツمامラサキマダラばかりが集まってくる。道路脇の壁でビュンビュン飛ぶ黒い大きなセセリ。明らかに雰囲気の違いであった。「テツイロかあ」と思いながら飛翔行動を見ていたら、目の前の枝の傍でホバリングに近い事を始めた。「やっぱりアオバセセリ属だなコイツ」と思い、ネットを振った。デリスの廻りにばかり居るのではないのですぞ。「アオバセセリと同じで、峠でテリトリ一張るのだな」と独り言を言いながら白浜へ向かった。白浜に到着したら、なんとデリスの廻りに数人、また海向こうへ渡りシュクシャでシロウラナミを狙う人が数人、等々ネット持参の人間が何んと小生含め18人。これじゃ集落の住人も怒るのは、解る気がした。オジロシジミを採集して白浜を後にした。

高那まで一挙に戻り、ヒメウラボシの森の手前のユツン川の橋の先に車を止めた。「このジャングルに良く入るよな」と関心しながらジャングルを眺め、更に国道の上の森のアーチを注意して観察していたら、白浜で見たのと同じ光景、ルリマダラが行ったり来たりしている。即刻迷マダラと判断し採集に向かった。白浜より樹木がアーチになっているので、低いところを飛ぶ。唯、ルリマダラは1回振り逃がすとダメなので、充分に確信のあるところでネットを振らなければ駄目である。今回も慎重にネットイン。まずはマルバネルリマダラであった。その後更に1頭出て来たのでそれもネットイン。種名が判別できないが、マルバネのメスであろうか。この場所は迷マダラのポイントなのに、結構知らない人が多い様だ。昨年マルバネ大発生の際は、この付近にネットが並んだらしい。西表初日に行った南風見田の伝説の迷マダラポイントが畑になって消失してしまった現在、確率の高いポイントは高那の森と白浜の旧道だと思っている。仲間川林道に戻ったら、ホリイコシジミの話で盛り上がっていたので、古見や船浦のランタナを探索に行く為に引き返した。古見で発見できず、船浦へ。どこのランタナにもホリイコシジミはいない。船浦のランタナにもホリイコシジミはいなかった。時間が遅いからか。公民館の芝生が伸びきった様な庭があったので、そこに入ってみたらオジロシジミのみが沢山身を潜めていた。白浜の草原で結構採集に苦勞したが、ここの採集は楽であった。綺麗な個体のみをゲットした。ホリイ

コシジミは、船浦や古見で相当発生しているのは確かだが、今回は諦めた。

石垣、西表とチョウの少なさに失望しながらも色々と採集できたので、最後は2泊3日で本島に戻りリュウキュウウラナミジャノメを再度採集しようと思った。

10月9日 沖縄県八重山郡竹富町西表島

浦内		白浜	
タイワンキマダラ	8♂9♀	ツمامラサキマダラ	4♂3♀
高那		オジロシジミ	3♂
マルバネルリマダラ	1♂1♀	テツイロビロードセセリ	1♂
船浦		アオタテハモドキ	1♂
オジロシジミ	14♂	タテハモドキ	3頭

■10月10日 竹盛旅館もチョウ屋でゴツタガエシてきたので、その喧騒を後にAM8:50発の観光フェリーで石垣へ戻った。連休中なので、途中で会った西表行きの船は、乗客で満杯状態であった。石垣空港でAM10:10発のJTA606に変更できないかとチャレンジしたが、空港ロビーはものすごい人で、当然満席であった。仕方が無いので予約済みの12:35発のJTA610まで空港で待機した。那覇空港に到着し、空港レンタカーの事務所までタクシーで行き、即レンタカーの借用事務処理を終了。今回の車種は新型のカローラで、ナビゲーションシステムが純正で装備されていた。未だ3千キロ台の走行距離で新車と言っても良い車であった。石垣西表と結構使い古しの車種だったので、嬉しい反面かなり不安な気持ちになった。

相変わらず南部はピーカンである。時間が余りないので百名方面へ行った。かつて、百名のミントンや垣花等々の城跡はツマベニやシロチョウ、オオゴマダラや一般普通種のメッカであったが、東京で言えば多摩地区、金沢では高尾か四万地区の様な新興住宅街に一変していた。「ツマベニやシロチョウ属の乱舞」は全く見られず、オキナワビロードセセリばかりがセンダングサで吸蜜していた。しかし、あの手の連中は直ぐボロやスレ状態になるので、綺麗な個体はいなかった。ここでも、ベニモンアゲハやツمامラサキマダラが多く飛翔していた。ツمامラサキマダラは、今では奄美大島で勢力拡大を始めているとの事なので、沖縄本島は全土で普通なのであろう。百名がオモシロくないので、かつて沖縄ビギナーの頃に「平和記念公園」のハズレで結構採集を楽しんだ場所があるので、午後3時過ぎではあるものの、覗いてみることにした。平和記念公園は、大きなお墓を背に丘陵があり、その樹冠をオオゴマダラが良く飛翔し、林縁のセンダングサにはジャコウアゲハ、シロオビアゲハ、ベニモンアゲハ、オオゴマダラ、リュウキュウアサギマダラ、ツمامラサキマダラ、各シロチョウ等々が吸蜜している。小生が到着した頃はもう活動の終焉だったので、チョウの数は少なかった。ここは海洋公園よりもオオラカなので、沖縄ビギナーや一般種をまとめて採集したい人にはお勧めである。ハネセンナも植樹されているので、時期になるとウスキシロも、末吉公園の様に乱舞しているはずである。西表でホリ

イコシジミの話で盛り上がった時に「そう言えばシルビアシジミも見えていない」と発言された方がいたのを思いだし、オジロシジミ同様芝生の様な雑草が長く繁茂している広場に踏み込むと、数頭から数十頭が飛び出した。今日の宿泊場所、安里のサンプラザホテルに到着したのは午後7時を回っていた。

10月10日 沖縄県玉城村島尻郡垣花・ミントン城跡付近（百名）

ナミエシロチョウ 2♂1♀ ベニモンアゲハ 2♂

ウスキシロチョウ 1♂1♀ オキナワビロードセセリ 4♂

10月10日 沖縄県糸満市摩文仁平和記念公園（沖縄戦没者墓地周辺）

シルビアシジミ 50頭

■10月11日 今日朝早く出発し、再度本部半島でリュウキュウウラナミジャノメ等々を探索する計画である。沖縄道許田IC終点からR58を北上、多野岳への旧道を探索に行った。そこでアクシデント！新道から旧道に入るところで側溝に「蓋」が無かったのである。車の左前輪と左後輪がバースト。「ヤッペー！」携帯電話のエリア内だったので即刻JAFへ。JAFの事務員曰く「お客さん無理したんでしょう。レッカー車派遣するから1時間程度待って下さい」。仕方が無いので周辺で採集。「有事の時にもネットを振る。これぞ採集人の極意」。ナガサキアゲハの白いメスやウスキシロチョウを採集。それに、1週間ぶりに本島のツمامラサキマダラと再会。相変わらずいたるところで「ふわーふわー」。そうこうしている内にトラックが到着。レンタカーを乗せてGSへ「普及車なのでタイヤは豊富」即刻交換作業。沖縄地方は「お茶受け」に黒糖が出るのである。サービスのコーヒーにミルクだけをいれて、黒糖をかじりながら飲むと非常良い感じである。作業終了。再度、多野岳へ。旧道でリュウキュウウラナミジャノメを数頭ゲット。その頃から、雲行きが怪しくなり雨がポツポツ。南の島は降り出すと急にすごい雨になるので即退散し、未だ晴れている海岸線へ。海洋公園が近いので転戦することにした。しかし、例のR499のツマベニのポイントも雨。ちょうど昼時だったので、南ゲート近くにある「ハーブとチョウ園」を冷やかしに行く事にした。チョウ園の入場料金は400円であった。ネット温室の中はオオゴマダラ、ツمامラサキマダラ、リュウキュウアサギマダラ、リュウキュウムラサキ、ナガサキアゲハ程度しか放チョウしていなかった。

依然として雨は上がらない。昔沖縄ピギナーであった頃、近くの八重岳へ行った事があった。それを思い出しリュウキュウウラナミジャノメ程度は採集できるだろうと思立ち寄った。ピークの手前で車を置いて山道（舗装）を歩いた。ここは乙羽岳や伊豆味同様コノハやフタオの件で「自然保護団体」や地元の人との軋轢が多く、ネットを持って探索する人は少ない。八重岳の山道の両脇のセンダングサを散策していたら、目を疑う程の信じられない光景に出くわした。ツمامラサキマダラの大群である。センダングサの黒いチョウは全てツمامラサキマダラで、1坪（3.3㎡）当たり5～8頭のツمامラサキマダラが

確認できる。恐らく、1000頭以上は吸蜜しているのは確実だ。これから更に越冬に向けて数が増加するのだから、一体どの様な事になるのだろうか。ツمامラサキマダラをよける様にして、リュウキュウウラナミジャノメを採集した。結構個体も多く、飽きる事はなかった。少し下ってセンダングサの草原を探索したら、ツمامラサキマダラではない流麗な青いチョウが静止していた。リュウキュウムラサキの綺麗な大陸タイプと、台湾タイプのハイブリッドである。三角紙に収納し、天候が回復する兆しもないので、今夜の宿泊場所オリオン西部ホテルへ向かった。

10月11日 沖縄県名護市多野岳山麓

リュウキュウウラナミジャノメ	10頭	ツمامラサキマダラ	5♂3♀
ウスキシロチョウ(ギンモンタイプ)	1♀	ナガサキアゲハ	2♀

10月11日 沖縄県国頭郡本部町八重岳山道

リュウキュウウラナミジャノメ	14頭	ベニモンアゲハ	1♂
リュウキュウムラサキ	1♀	ツمامラサキマダラ	14♂1♀
シロオビアゲハ(ベニモン型)	2♀	クロセセリ	1♂

■10月12日 今日是最終日。外はピーカン。でも遠くへは行く気にならない。「末吉公園」にでも行くか。首里末吉まで30分。公園の入口はオープンしていないので裏口の手前に車を置いて公園の中へ。朝の散歩を楽しむオジイチャンオバアチャンが数人。朝からネット持って、ウロウロしている人はいない。公園の中ほどにハネセンナが植樹されている。朝早くからでもウスキシロは元気で、数頭が乱舞状態。遊歩道では、またアオタテハモドキを発見した。非常に綺麗な個体であったので、1週間前に予想した通り新鮮な個体が多く出ているのではないかと思った。アオタテハモドキは、羽化後分散することはなく、結構周辺に固執して溜まっているものだ。「遊歩道と草原」と言うオープンランドを条件に探索したら、次から次へとかなりの個体を採集することとなった。正午に近くなったので納竿し、レンタカーを返却し那覇空港で昼食をとり、JAL904で羽田へ。トランジットでJAL147で小松へと帰還したのである。

10月12日 沖縄県那覇市首里末吉公園

アオタテハモドキ	18♂2♀	ツمامラサキマダラ	3♀
ツマグロヒョウモン	2♂2♀目撃	カバマダラ	1♂
ウスキシロチョウ	3♂1♀		

12日間も仕事(実際は6日間)をせず、更に小生単独で遠征したので、家族や職場の理解に深く感謝したい。また、2000頭以上の採集品はキチッと整理し貴重なデータとして、今後に向け研究材料にしたいと考えている。

《ささがわ ただし 〒167-0031 杉並区本天沼1-2-5》

スジボソヤマキは消えたのか  
輪島のオオムラサキを精力的に調査している日吉氏、スジボソヤマキも重点調査対象として居るが、何処へ行つても発見できない。このところ各地からスジボソヤマキ減少との噂が流れてくるが、全国的な傾向だろうか。

照葉樹林ではいつくばると

奥能登調査では雨にたたらればなしの富沢氏、久しぶりの好天に山伏山で昼飯を食べていると、落ち葉の上には何かを発見。なんと石川県レッド種のヒナカマキリで、はいつくばって探し出すと、ここにも、あそこにも。

ツマグロヒョウモンは落ち着いた

一昨年、昨年と猛烈な勢いで石川県に分布を広げたツマグロヒョウモンだったが、今年は勢いが急速に鈍った。分布範囲は昨年とほとんど変わっていないが、昨年の様な大集団は観察できなかった。

アサギマダラ年鑑1999

一九九九年のアサギマダラのマーキングに関する全国の情報満載した年鑑が十月二十日に発行された。全国のマーキング状況、都道府県別マーキング一覧、再捕獲地別再捕獲一覧、放蝶地別再捕獲一覧など、使い勝手も良い。全国集計もあり、一九九九年は全国で二五四九五頭にマークされている。

城端SAにギフチョウの楽園

自然豊かな高速道を目差す東海北陸道は、城端サーピスエリアにギフチョウの生息地を整備する。まずは地元の福野高校が、ヒメカンアオイの成長点培養を行い、三年で二千株を用意、できあがった苗は地元の小学生在が植え付ける。

元気が出てきたアカハネムシ

石川むしの会の連絡誌「アカハネムシ」は、今年になって三号を発行し、元気な頃に戻りつつある。

再捕獲のメツカ、奄美喜界島

奄美諸島喜界島で、輪島でマークしたアサギマダラが再捕獲された。しかも、他から来た九頭の仲間と同時に。これで驚いちゃいけない。喜界島だけで今年に既に三十四頭もの再捕獲が記録されている。今年の再捕獲は百六十頭程なので、小さな喜界島だけで全体の二割を越えている。

採れたのはクロコノマが一頭

七月に早々とクロコノマが採れ、九月末にはスジグロカバマダラが目撃された。否応もなく期待が高まった迷蝶だったが、結局それっきり。

医王山は来シーズンから

昨年から通行止が続いている医王山の菱池林道、今年の秋には開通すると聞いていたが、まだ通行止。十二月には通れるとの話だが、直ぐに雪が降って通れなくなるので、実際に走れるのは、来年の雪解け以後になる。

オオトラ飼育は今年でお終り

箱も一杯になったし、エサケルスでも配ったと、大満足の井村会長、オオトラカミキリの飼育は今年で止めるらしい。

例会の記録

十月五日(木)城南管工一階にて八時から開催。二階が改装中のため、一階になった。今回は、石川県からの依頼

で進行中の石川レッドデータブックCD版に掲載する生態写真や標本を持ち寄った。掲載するものは県内産に限り、写真は一種一点で生態写真は原則。生態写真が無いときは標本写真を使い、標本も無いときは、図を使う事になる。

その他の話題では、井村会長ただいま別宅を新築中、秋蛾はこれからおもしろい、これがお騒がせのクロコノマ、野々市町のスジババ調査報告などなど。

参加は、富沢、矢田、井村、中西、松井、細沼、吉村、指田の八人。  
【表紙デザイン…小幡英典】

# 会員の動き・しゃばの動き

舢倉島は渡りの中継点？

鳥の渡りの中継点として有名な舢倉島、アサギマダラも利用している可能性がある。そう考えて島に渡った日吉氏が見たものは、鳥でもなくアサギでもなく、あふれんばかりの鳥屋だった。その鳥屋の話によると、「今日は見ないが、数日前にはたぐさんのアサギが飛んでいた」らしい。

各国のジョロウグモを送って

徳本氏が調べているジョロウグモ、南へ行くほど黒化し、この変異をDNAから眺めると、本土系と南西諸島系の二系統があるらしい。ネパールのジョロウグモは南西諸島系だったが、各国のジョロウグモを調べると、日本産ジョロウグモのルートが見えてくるかもしれない。

スジグロカバマダラ発生か？

野々市町と金沢市の入り組んだ辺りで、相前後してスジグロカバマダラが目撃された。それも三回となると、五年のカバマダラ発生が思い起こされ、早速数人で調査に取りかかったが、追加記録は得られなかった。

大型哺乳類とオオセンチ

オオセンチが分布するには、大型哺乳類の大型の糞が必要らしい。宝達山の大型哺乳類だったシカは絶滅したが、シカと一緒にいたオオセンチは今も細々と分布している。かつてのシカの分布域は、今もオオセンチの可能性が高いと、能登各地にトラップをセットした富沢氏、碁石ヶ峰で見事オオセンチをゲットした。

オオゴマダラのすごい異常型

沖縄県本部町の竜宮城蝶々園で、四頭の異常型が羽化した。これが、なかなかの斑紋で、新聞を賑わした。



マーキング界の有名ポイント

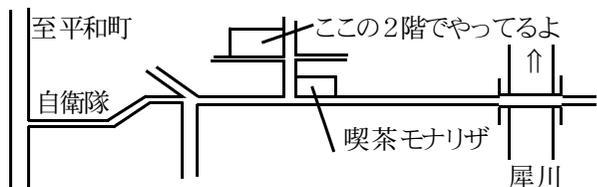
輪島の鉢伏山でマーキングしたアサギマダラが、京都、群馬、和歌山、奄美諸島と各地で再捕獲され、アサギマーキング界では有名スポットになりつつある。三方を海に囲まれた鉢伏山、どちらへ飛ぶかにも興味を持たれ、来シーズンには、全国から同好者が押しかけるかも知れない。

## 翔 147号

Tobu 2000年12月1日発行  
百万石蝶談会

<http://member.nifty.ne.jp/hakusan/>  
金沢市大場町東871-15 松井方  
☎920-3121 ☎076-258-2727  
郵便振替 00750-8-562  
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から  
TEL参加もOKです (076-244-3318)



## 目 次 (147号)

日吉芳朗：キベリタテハを輪島市鉢伏山で目撃	1
大脇 淳：ムラサキシジミの採集・目撃例	2
嵯峨井淳郎：鳥越村にてスギタニ型オオムラサキを採集	2
矢田新平：白峰村大杉谷林道の薪置き場におけるカミキリムシ	3
井村正行：白峰村でアイヌハンミョウを採集	5
松井正人：市町村別蝶類記録一覧表	6
笹川忠志：1999年沖縄石垣西表採集記（その3）	11
編集部：会員の動き・しゃばの動き	16